

氏名： 大戸 美也子 (OHTO Miyako)
所属： 家政学修士 (お茶の水女子大学 1965) / M.ed (ペンシルバニア州立大学 1975)
職名： 教授
学位： 1965 家政学修士、1975 M.ed
専門分野： 幼児教育
E-mail： oto.miyako@ocha.ac.jp

◆研究キーワード / Keywords

幼保一体施設 / 陶冶 / 保育環境 / 保育の質
ECCE / Bildung / Environment / Quality of Care

◆主要業績

総数 (3) 件

- ・「多様な機能を持つ幼少年期教育・保育施設-フランクフルト市における陶冶ネットワークの活用実態(1)、(2)」『幼児の教育』第107巻11号、12号。2008. 11～12
- ・「保育環境・保育空間に関する基礎調査」東京都世田谷区保育課委託研究、2009.3

◆研究内容 / Research Pursuits

2つの研究テーマについて調査研究した。1. 幼保一体施設の教育 2. 保育所の保育環境の調査 1については、フランクフルト市の幼保施設 (KITA) の実態を実地検証した。また、2については、世田谷区の公立保育所の保育環境の特質を八つの側面からとらえ、保育の質向上のための条件を探った。

◆教育内容 / Educational Pursuits

「保育臨床演習Ⅰ」(前期)

親の養育力をエンパワーすることで養育力の向上をはかろうとする試みを、四つの幼稚園と保育所、及び五つの子育て支援の事例研究を通して分析し、多様な支援活動を進めるうえでの専門性を分析、理解する。

「比較保育学Ⅰ」(後期)

日独の幼保一体施設を5つのキーワードから分析し、類似点と差異点を検討する。

「保育実践研究Ⅰ」(通年)

新保育所保育指針の告示と同時に、各地方自治体で「保育の質向上のためのアクションプラン」の策定することが勧告された。この勧告に基づき都内世田谷区においてアクションプログラムを具体化するプロジェクトを組み実施する。

◆研究計画

保育所の保育の質向上の基本的条件として環境整備が必要との前提に立って、以下の調査研究をすすめ保育行政、あるいは経現場への提言をしていく。1. 昨年度世田谷区で実施した保育環境に関する調査結果に基づき、保育所の保育の質を高める園舎の在り方をマニフェストにして今後の保育所改修や新築の際に役立てる。2. オフィスビル内の小規模保育施設の設計と運営に具体的に参画し、園庭なしの保育園で質の高い保育を展開するための諸条件を分析し、新しいタイプの都市型保育施設のモデルを提案して行く。

◆メッセージ

保育の現場や行政と連携して「質の高い保育」を実現するための方策を具体的に実証的におしすすめるプロジェクトを開発し、これらのプロジェクトへの参加を通して保育の質を高める推進力を身につけるための応援をします。